情報連絡員総括表（2021 年 7 月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

１．　概況報告
２．　項目別の前月・今月の DI 値の比較
３．　情報連絡員からの報告
４．　中央会・行政への要望
５．　主要三指標における DI 値の推移（グラフ）
６．　臨時調査結果　**テーマ：消費税のインボイス制度**

◎売上高等の 9 項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

ＤＩ値＝［(好転組合数－悪化組合数)／調査対象組合数］ ×100

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、ＤＩ値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

１． 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○ 2021 年 7 月のＤＩ値は、前月との比較において「収益状況」「業界の景況」を含む 4 指標が改善、「設備操業度」が横ばい、「売上高」を含む 4 指標が悪化する結果となった。
食料品製造業、製材業、機械器具製造業、建設業等　業種にかかわらず材料費等の値上げによる負担増で経営が圧迫されているとの声が多い。

○「製造業」では、前月との比較において「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要 3 指標を含む 5 指標が改善、「設備操業度」が横ばい、それ以外の 3 指標が悪化する結果となった。
電気機械器具製造業からは、「半導体部品不足による生産調整に見通しが立ちつつある」との声が寄せられた。一方で、生産用機械器具製造業や輸送用機械器具製造業からは「収束時期の見通しが立たず苦慮している」との声が多い。

○「非製造業」では、前月との比較において主要 3 指標を含む 5 指標が悪化、それ以外の 3 指標が改善する結果となった。
宿泊業からは、「熱海市で起こった土石流の影響で、宿泊キャンセルや観光客が減少している」とのコメントが寄せられた。

（DI値）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2021年7月	-10.0	-2.3	1.6	-13.3	-23.4	-21.6	-20.0	-18.4	-33.3
2021年6月	-8.4	-20.4	-10.0	-11.7	-26.6	-25.0	-20.0	-18.3	-38.3
増減	-1.6 ⤵	18.1 ⤵	11.6 ⤴	-1.6 ⤵	3.2 ⤴	3.4 ⤴	0.0 －	-0.1 ⤵	5.0 ⤴

2.　項目別の前月・今月の DI 値の比較

		製造業			非製造業			全体		
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減	
売上高	2021年7月	-13.4	3.3 ポイント	⤴	-6.7	-6.7 ポイント	⤵	-10.0	-1.6 ポイント	⤵
	2021年6月	-16.7			0.0			-8.4		
在庫数量	2021年7月	10.0	20.0 ポイント	⤵	-28.6	14.3 ポイント	⤵	-2.3	18.1 ポイント	⤵
	2021年6月	-10.0			-42.9			-20.4		
販売価格	2021年7月	6.6	6.6 ポイント	⤴	-3.4	16.6 ポイント	⤴	1.6	11.6 ポイント	⤴
	2021年6月	0.0			-20.0			-10.0		
取引条件	2021年7月	-3.3	3.4 ポイント	⤴	-23.4	-6.7 ポイント	⤵	-13.3	-1.6 ポイント	⤵
	2021年6月	-6.7			-16.7			-11.7		
収益状況	2021年7月	-13.3	10.0 ポイント	⤴	-33.3	-3.3 ポイント	⤵	-23.4	3.2 ポイント	⤴
	2021年6月	-23.3			-30.0			-26.6		
資金繰り	2021年7月	-13.4	-6.7 ポイント	⤵	-30.0	13.4 ポイント	⤴	-21.6	3.4 ポイント	⤴
	2021年6月	-6.7			-43.4			-25.0		
設備操業度	2021年7月	-20.0	0.0 ポイント	ー				-20.0	0.0 ポイント	ー
	2021年6月	-20.0						-20.0		
雇用人員	2021年7月	-26.7	-10.0 ポイント	⤵	-10.0	10.0 ポイント	⤴	-18.4	-0.1 ポイント	⤵
	2021年6月	-16.7			-20.0			-18.3		
業界の景況	2021年7月	-26.7	16.7 ポイント	⤴	-40.0	-6.7 ポイント	⤵	-33.3	5.0 ポイント	⤴
	2021年6月	-43.4			-33.3			-38.3		

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	0	2	0	0	1	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0	0	0	2
	繊維工業	0	2	2	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2
	木材・木製品	2	1	1	2	3	0	2	0	2	1	2	0	1	0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	窯業・土石製品	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	鉄鋼・金属工業	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1
	一般機器	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0
	電気機器	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	輸送用機器	2	2	3	0	0	1	0	1	3	2	1	1	2	2	0	2	3	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非製造業	卸売業	2	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0			0	0	0	3
	小売業	1	3	1	2	2	1	0	2	1	3	0	3			0	2	1	3
	商店街	0	2	0	2	0	4	0	1	0	2	0	1			0	1	0	4
	サービス業	1	0			0	0	1	1	1	1	0	1			1	0	1	1
	建設業	1	1			2	2	0	3	0	4	0	2			0	1	0	3
	運輸業	2	1			3	0	0	0	1	1	0	2			1	1	1	1

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	・コロナ禍の影響がこの先いつまで続くのか不安。夏期連休など、観光地への悪影響が懸念。
パン	・原材料の価格上昇分を販売価格の引き上げで補っている。
織物業	・来年度春まで低迷が続くことが予測される。
宗教用具	・新型コロナウィルスの影響で、商品の動きは鈍く対前年比マイナス19.8%程の状況。シーズン中にも関わらず製造関係は厳しさが続行中である。
製材業、木製品	・海外産材の輸入減による「ウッドショック」の余波が続き、国産材需要は依然旺盛。年内はこの情勢のままというのが大方の観測。ただ材価が高止まりしている現状に需要が息切れする心配も聞かれる。
印刷・同関連業	・新型コロナウイルスの影響で、印刷需要が低迷していることに変わりはない。 官庁の大型入札案件では前年比で落札見積金額が大幅に下落している。組合員の特定業者が複数の案件で最安価格で落札しているが、自社で印刷せず、実質丸投げをしているところもある。 ・相場金額が下落することで当業界は今後も厳しい状況が続くことが懸念される。 ・金属の価格が高騰しており、刷版の資材値上げの要請がある。
骨材・石工品等	・対前年比で収益は改善したものの、厳しい状況は続いている。
金属製品	・業種により差はあるものの、先月に対して平均的には悪化傾向にある。
生産用機械器具	・仕事量は少し増加しているが、材料費が値上がり販売価格は据え置きの状態で、仕事が出てきても収益は悪くなる傾向がある。 ・部品の入りが悪いため生産に影響が出てくることが予測される。 ・半導体調達懸念から、発注先からは5～6ヶ月先までの在庫手当てを指示されている。 ・品質低下を来さないよう質の悪い部品を掴まないよう注意を受けている。
電気機械器具	・半導体不足による生産調整が拡大しているが、徐々に今後の挽回見通しも立ちつつある状況。 ・大型冷蔵庫、家庭用エアコンの販売は引き続き好調であるが、生産はマイナス調整が継続している。 ・業務用エアコンは海外向けと国内向け共に好調であり、生産は前年並みを維持している。
輸送用機械器具	・一部の組合員企業では、半導体不足の影響を受けているところもあるが、相対的には中国・アメリカの回復により景況は好転している。 ・アセアン地域の感染拡大が部品製造にも影響を及ぼしており、半導体の影響がいつ終息するのか見通しが立たなく苦慮している。 ・半導体不足による生産減少の影響は当面影を落としそうである。半導体製造メーカーの自動車部品、オートバイ関連製造は当面増産予定はないとの事であり数年規模で半導体の不足は続くものと思われる。 ・政府はコロナとの戦いと言っているが、どういう戦略でどう戦い、現在はどの程度の成果を収めているのか全くもって不明で。臨機応変とは言いながらロードマップもない。感染者が増えれば、自粛要請、自己隔離、蔓延防止宣言、緊急事態宣言を出していて何の戦略も伺い知れず、場当たり的対応である。政治行政としては心もとない。 ・受注量が少なく厳しい状況が続いている。

非製造業

セメント卸売業	・公共関連工事の発注が見られ始め、8ヶ月振りに前年実績を上回ったが、依然として需要は低迷している。
鮮魚小売業	・昨年と比較すれば好転といえるが、コロナ禍の前の様に回復するとは考えられない状況。また、急速に感染が拡大している為、先行きが不透明で非常に不安。
各種商品小売業	・コロナ禍の長期化により厳しい経営を強いられ、店舗の縮小や廃業に追い込まれる同業者が増えている。 ・新型コロナウィルス感染拡大によりオリンピック関連イベントを中止した。 ・対昨年比ではほぼ横ばいだが、コロナ禍前の一昨年と比べると状況が悪い。 ・施設や設備の老朽化により修繕箇所が出てきている。
宿泊業	・熱海市伊豆山大規模土石流の影響で、観光客が減少するとともに宿泊キャンセルがおこった。 ・新型コロナウイルスの再拡大による首都圏の緊急事態宣言及びまん延防止措置等措置による旅行自粛や、静岡県内の感染者増加による県内宿泊キャンペーン「バイ・シズオカ～今こそしずおか元気旅」の一時停止等、旅行需要へのマイナス要因が重なり、夏休みのトップシーズンが大変厳しい状況となっている。
総合工事業	・請負金額以上に資材価格が上昇している。また人手不足により下請価格が上昇しており経営を圧迫している。 ・業者は忙しい割には利益が出ない状況。 ・売上高や操業度は昨年度並以上になったが、鋼材価格の急速かつ大幅な上昇による発注急増が要因で、鋼材価格の値上げに歯止めがかからずかえって非常に悪化している。
職別工事業	・徐々に物件が着工してきて、繁忙期が近づいている印象。今後は年末に向け、かなり忙しくなりそうな模様。
道路貨物運送業	・7月に入り飲料品を中心に荷が動き始めた。中旬の梅雨明け後は、更に荷物情報が増加傾向で、運賃も回復傾向となった。しかし、新型コロナウイルス感染前と比較すると半分程度の状況である。 ・新型コロナウィルスと半導体不足の影響で、輸送の減少と燃料費の高騰により、経営が圧迫されている。
道路旅客運送業	・過去最悪の状況だった昨年度の第一四半期と比較し事業収益が39.3%改善したとはいえ、コロナ禍前の令和元年度と比べるとマイナス41.3%で、依然として厳しい状況が続いている。 ・国の要請を受けて雇用を確保しながら何とか事業を継続しているものの、人の動きを抑制する施策が続いている限り業況改善は難しい。ここにきてデルタ株の急拡大など、さらに経営悪化に拍車がかかりそうな状況に手の施しようがない。

４．中央会・行政への要望

・コロナ感染症対策が持続可能な政策になっていない。ゼロコロナはどう見てもありえないので、感染者数を追っていけば、際限なく続く可能性がある。もっと、ワクチン接種も進んでいる状況で他の指標で判断してほしい。

・コロナ感染者は、今後も増えたり減ったりの繰り返しになるのは明らかで、どこかでモードをチェンジしない限り長期になればなるほど経済に破壊的ダメージを与えている。事業主も先行きが見えない不安から事業意欲を失い兼ねない危機的状況にある。

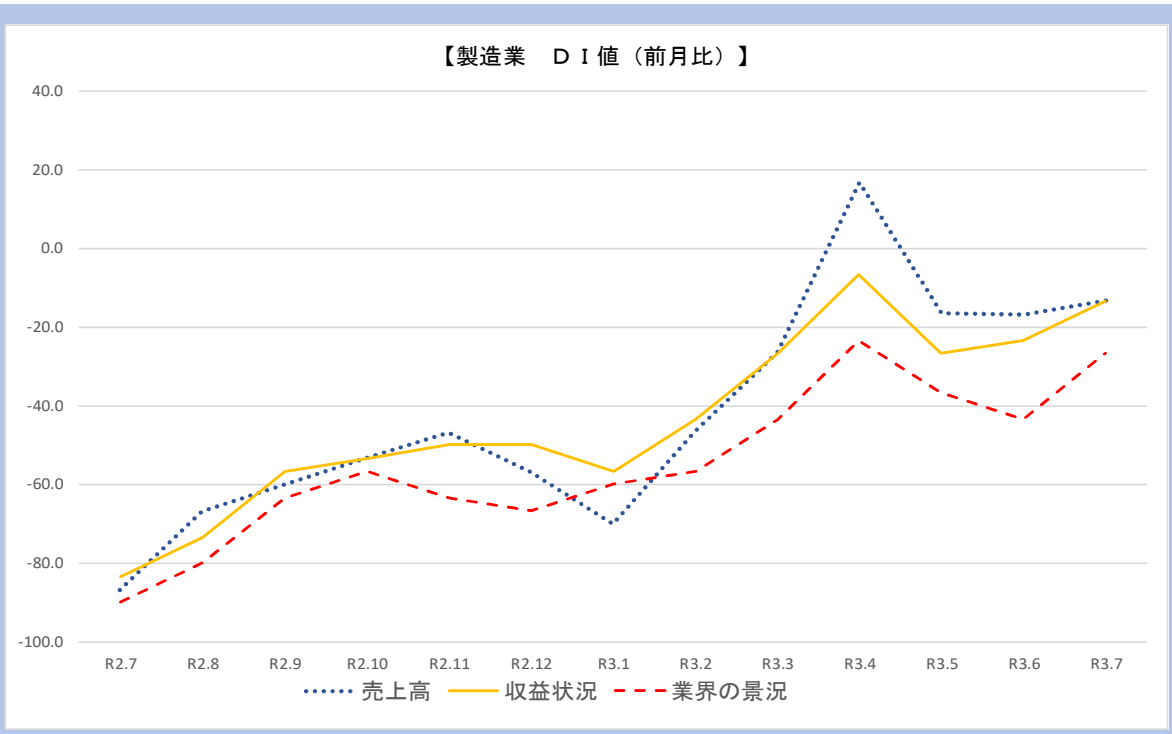
５．主要三指標における DI 値の推移

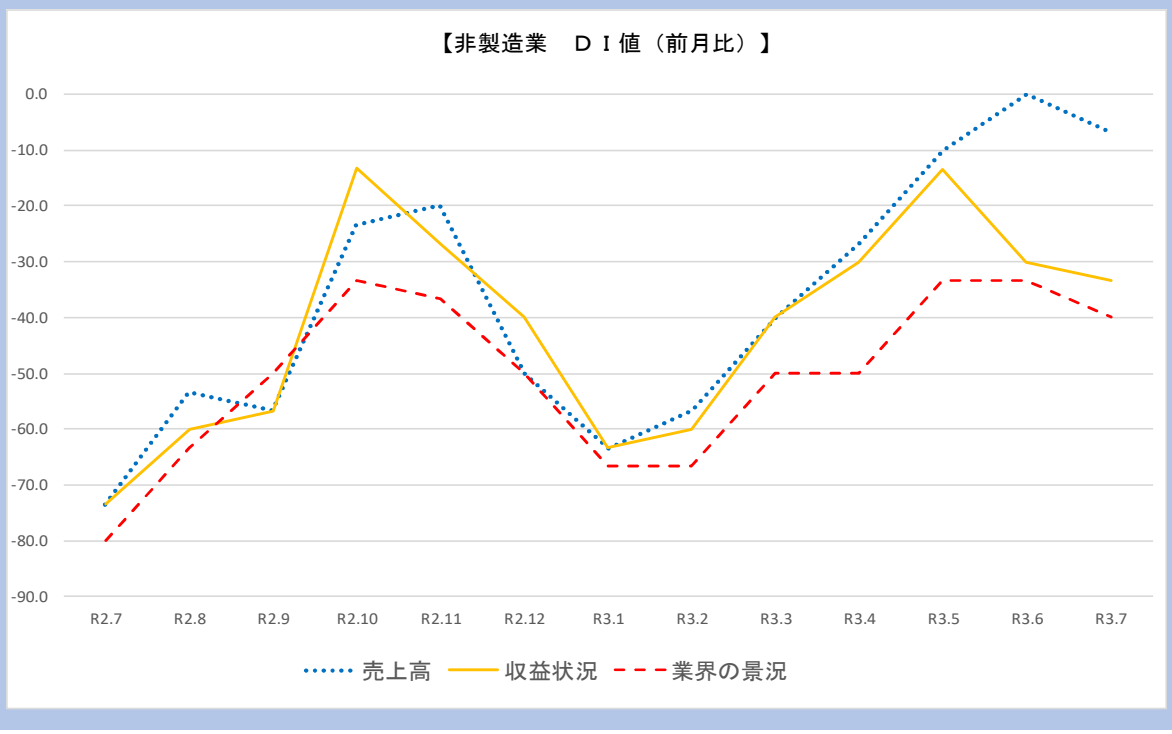
■2020年7月期～2021年7月期までの推移

全体	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7
売上高	-80.0	-60.0	-58.4	-38.3	-33.3	-53.3	-66.7	-51.6	-33.3	-5.0	-13.3	-8.4	-10.0
収益状況	-78.3	-66.7	-56.7	-33.3	-38.3	-45.0	-60.0	-51.6	-33.3	-18.3	-20.0	-26.6	-23.4
業界の景況	-85.0	-7.7	-56.7	-45.0	-50.0	-58.3	-63.4	-61.6	-46.7	-36.6	-35.0	-38.3	-33.3

製造業	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7
売上高	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0	-46.6	-26.6	16.7	-16.6	-16.7	-13.4
収益状況	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0	-56.6	-43.3	-26.7	-6.7	-26.7	-23.3	-13.3
業界の景況	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0	-56.7	-43.3	-23.3	-36.6	-43.4	-26.7

非製造業	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7
売上高	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4	-56.6	-40.0	-26.7	-10.0	0.0	-6.7
収益状況	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4	-60.0	-40.0	-30.0	-13.4	-30.0	-33.3
業界の景況	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7	-66.7	-50.0	-50.0	-33.3	-33.3	-40.0



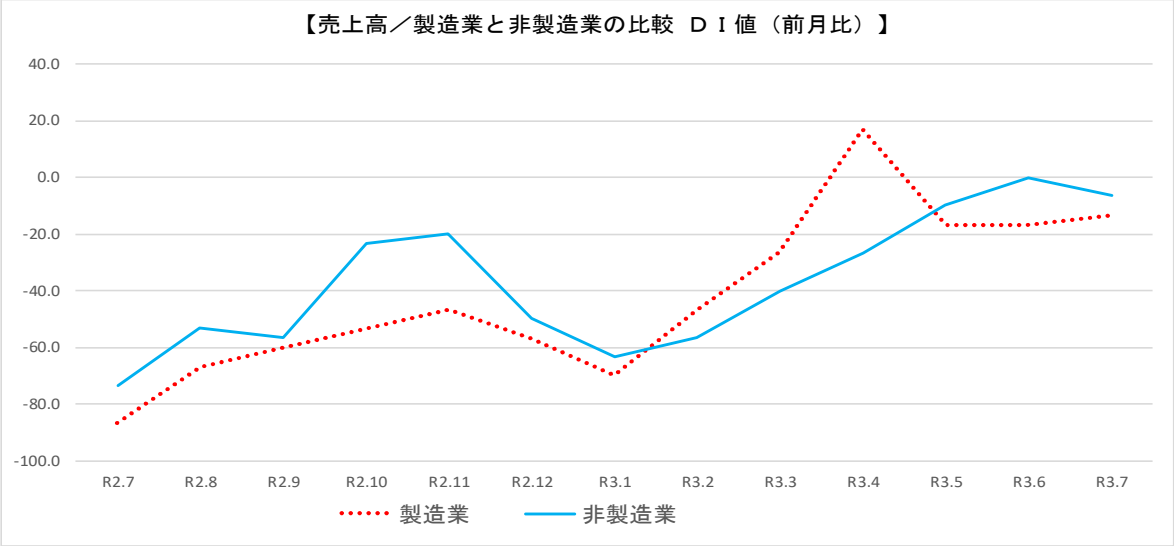


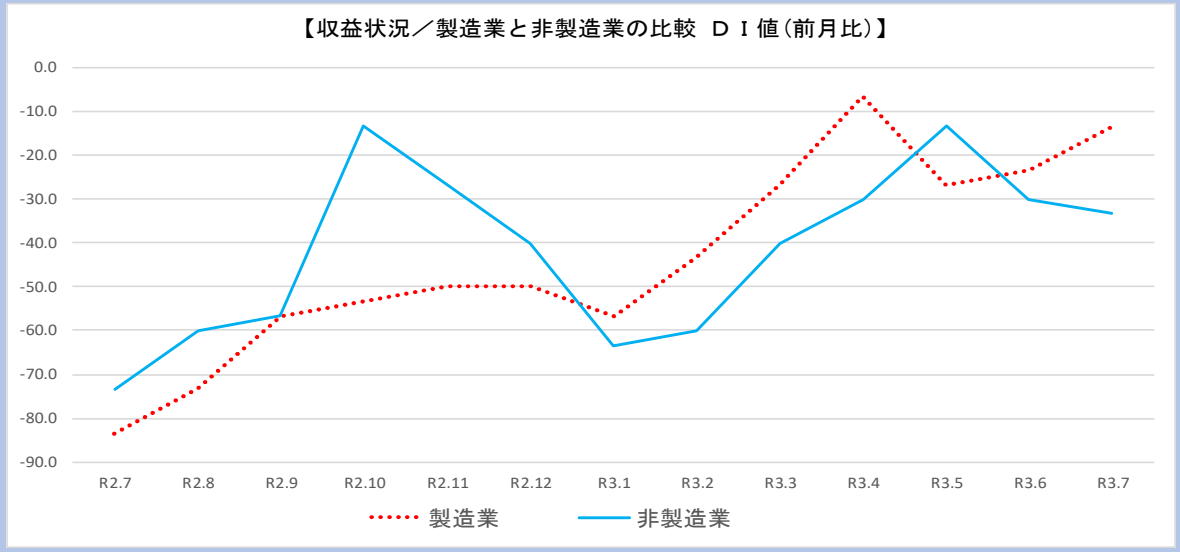
■2020年7月期～2021年7月期までの推移

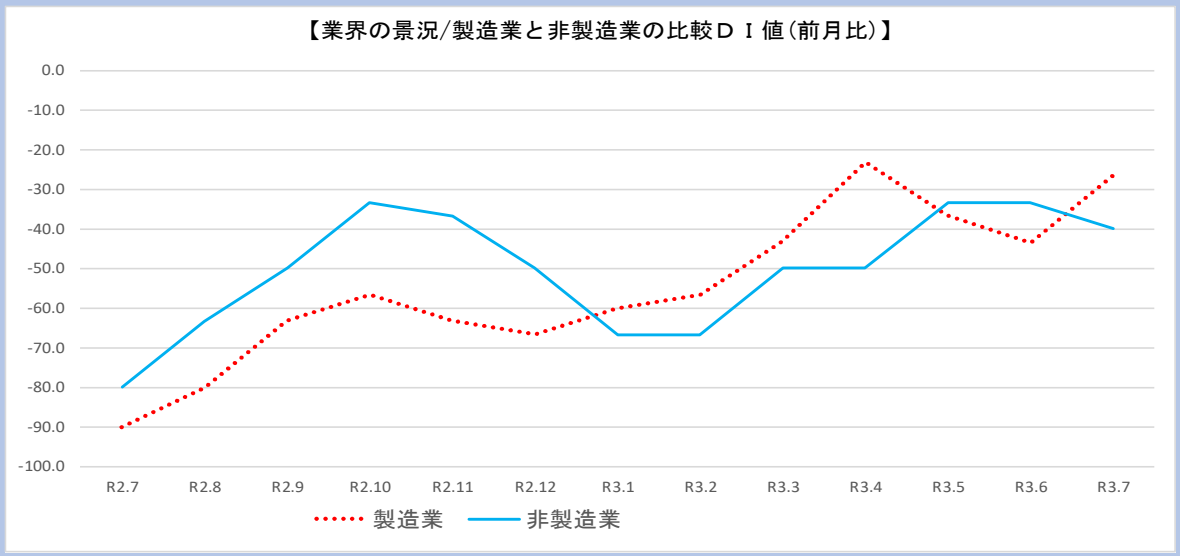
売上高	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7
製造業	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0	-46.6	-26.6	16.7	-16.6	-16.7	-13.4
非製造業	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4	-56.6	-40.0	-26.7	-10.0	0.0	-6.7

収益状況	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7
製造業	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0	-56.6	-43.3	-26.7	-6.7	-26.7	-23.3	-13.3
非製造業	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4	-60.0	-40.0	-30.0	-13.4	-30.0	-33.3

業界の景況	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7
製造業	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0	-56.7	-43.3	-23.3	-36.6	-43.4	-26.7
非製造業	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7	-66.7	-50.0	-50.0	-33.3	-33.3	-40.0



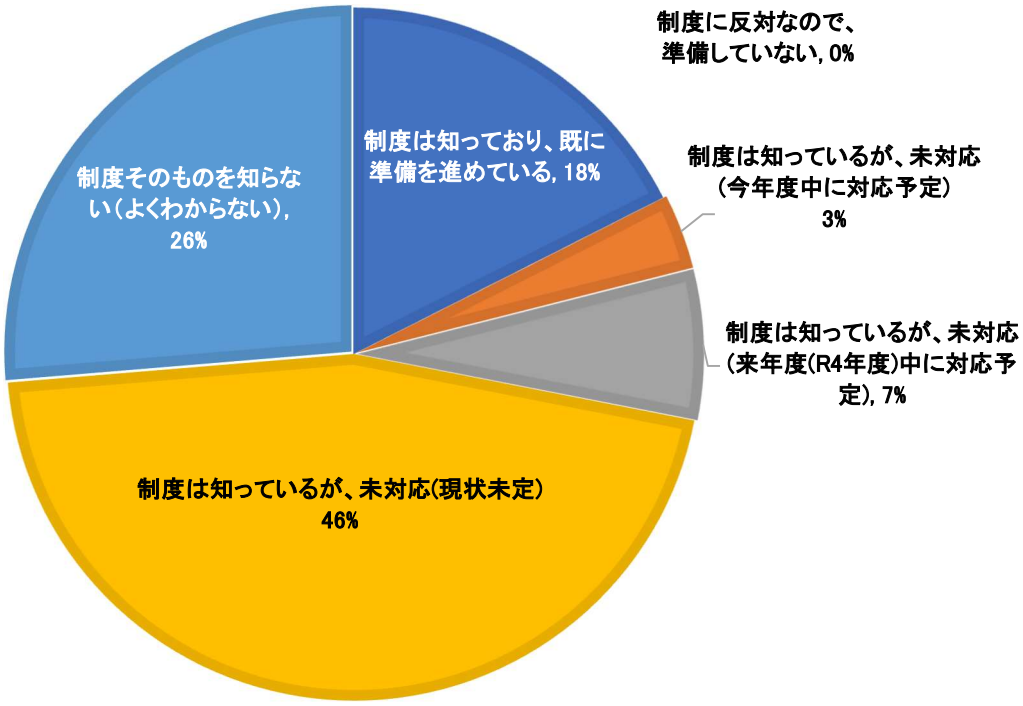




６．臨時調査結果　テーマ：消費税のインボイス制度

質問　適格請求書等保存方式（「インボイス方式」）については、2023（令和５）年 10 月 1 日より導入が予定されております。「制度への準備状況について、該当する選択肢をお選びください。

回答　回答数：57 件



選択意見	制度への円滑な対応のために必要と思われる施策、制度対応への課題や懸念事項、意見等
制度は知っており既に準備を進めている	組合としては準備はできており、組合員に対しても周知活動はしているが、組合員がどの程度準備が出来ているかの把握はできていない。講習会等を開きたい意向もあったが、コロナの状況もあり、未定の状態になっている。（野菜・果実小売業）
制度は知っているが未対応（現状未定）	加工賃収入を主とする下請的な中小零細企業にとっては、大きな影響や負担があると思われる。現在、消費税免税業者の場合、取引先による発注の選別、特に課税業者と課税業者の間に挟まれた中間業者には不安があり、本来なら免税事業者の選択が可能であっても、取引背景から、課税業者とならざるを得なくなる場合が想定される。（織物業）
	自社の零細な外注先や取引先への対応などによる負担の増加、そして、コロナ禍で厳しい状況にある事業者には、様々な面で一層の負担増が非常に心配である。 現場を充分把握した制度でなければ、混乱が起き、負担が増えるだけはないかと思う。（織物業）
制度そのものを知らないよくわからない	組合事務所の職員が少ないため、本制度以外でも職員の退職等により次の担当者が知識の習得や組合員への指導ができるか、またその負担増加を懸念している。（パン製造業）
	制度の認知度を高める広報活動が必要。（生産用機械器具製造業）
	説明会等の実施をお願いしたい。（電気機械器具製造業・道路貨物運送業）
	制度そのものがよくわからないため、円滑な対応に必要なの施策も現段階では不明。（建設業）
	対応準備にかかるにもコロナ禍により厳しい現状。（建設業）